

### 3. データシートの作成

#### 3-1. マスターシートの構成

Excel を立ち上げ「マスターシート」を開きます。

ダイアグラムを作成するには、各項目の生データ入力用の「グラフシート」、柱状図の生データ入力用の「柱状シート」が必要です。

#### 3-2. グラフシートの入力方法

表 3-1 に「グラフシート」書式を、図 3-1 に「グラフシート」の入力例を示します。

表 3-1 「グラフシート」書式

セル名	セルの色	使用可能文字	斜体	入力件数
柱状図名	赤色	全角、半角	使用不可	1
試料No.	水色	半角	使用不可	500
深度上限	水色	半角数字	使用不可	500
深度下限	水色	半角数字	使用不可	500
項目名	黄色	全角、半角	使用不可	252
カウント数	黄緑色	半角数字	使用不可	500×252

「柱状図名」には柱状図名(地点名)を入力します。

「試料No.」、「深度上限」、「深度下限」には、入力する試料の試料No.、採取深度の上限値、採取深度の下限値をメートル単位で入力します。

「項目名」には入力項目の名前を入力します。

「カウント数」には計数した実数を入力します。

	A	B	C	D	E	F	G	H	
1	柱状図名	test grp							
2	試料No.	深度上限	深度下限	Nitrogen	Carbon	Hydrogen	Sulphur		
3	1	0.25	0.25	0.782	0.130	0.838	0.231		
4	2	0.50	0.50	0.618	0.502	0.782	0.433		
5	3	0.75	0.75	0.152	0.560	0.950	0.433		
6	4	1.00	1.00	0.835	0.622	0.436	0.997		
7	5	1.25	1.25	0.513	0.795	0.197	0.708		
8	6	1.50	1.50	0.643	0.101	0.437	0.540		
9	7	1.75	1.75	0.214	0.518	0.933	0.456		
10	8	2.00	2.00	0.152	0.409	0.539	0.449		
11	9	2.25	2.25	0.334	0.054	0.550	0.886		
12	10	2.50	2.50	0.558	0.365	0.003	0.597		
13	11	2.75	2.75	0.000	0.991	0.294	0.786		
14	12	3.00	3.00	0.309	0.476	0.447	0.676		
15									
16									
17									
18									
19									
20									
21									

図 3-1 「グラフシート」の入力例

### 3-3. 柱状シートの入力方法

表 3-2 に「柱状シート」書式を、図 3-2 に柱状シートの入力例と打ち出し柱状図を、図 3-3 に柱状図記号一覧表を示します。

表 3-2 「柱状シート」書式

セル名	セルの色	使用可能文字	斜体	入力件数
深度	水色	半角数字	使用不可	200
コード	黄緑色	4桁の半角数字	使用不可	200

「深度」には、柱状図の下限值(深度)をメートル単位で入力します。

「コード」は図 3-3 の柱状図記号一覧表を参照し、4桁のコード(半角数字)の組合せで入力してください。

該当する項目がない桁には「0」を入力してください(たとえば、表土は「1000」、貝殻混入シルト質粘土は「0124」、シルト質細粒砂は「0320」です。)

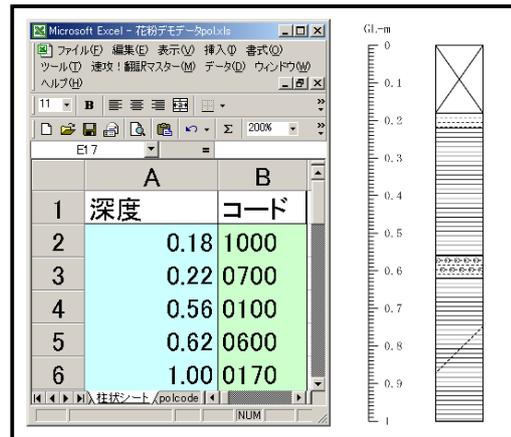


図 3-2 「柱状シート」の入力例と打ち出し柱状図

コード文字	4桁目	3桁目	2桁目	1桁目
1	表土	粘土	粘土質	礫混入
2	埋土	シルト	シルト質	玉石混入
3	崩積土	細粒砂	砂質	腐植物混入
4		中粒砂	礫混り	貝殻混入
5		粗粒砂	粘土混り	貝・腐植物混入
6		砂礫	シルト混り	浮石混入
7		砂	砂混り	転石
8		火山灰	凝灰質	
9		腐植土	腐植質	

図 3-3 柱状図記号一覧表(沖積層)

### 3- 4. データファイルの保存方法

入力が終わりましたら、名前を付けて保存します(「ファイル」→「名前を付けて保存」)。保存データの最後には識別文字をつけます。識別文字は半角小文字で「grp.xls」です(完全版の識別文字は「dmd.xls」です。)

例-「test」という名前のファイルを作る場合「testgrp.xls」としてください。

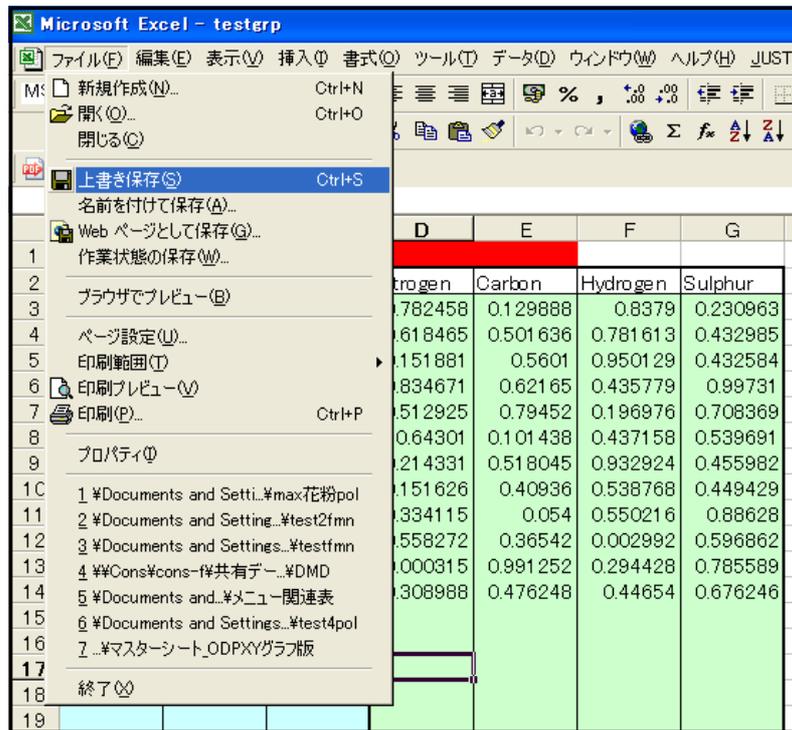


図 3- 4 「ファイル」画面



図 3- 5 「名前を付けて保存」画面

## 4. 出カイメージの表示

①インストールしたフォルダ「DMD」の中から、アプリケーションプログラム「DMD.exe」を実行します(図 4- 1)。

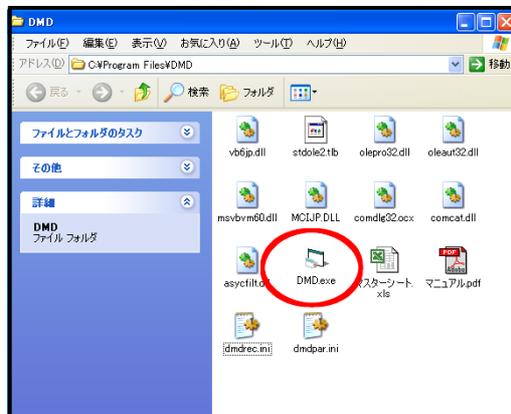


図 4- 1 フォルダ「DMD」画面

②「パスワードの入力」画面(図 4- 2)が表示されます。あらかじめ登録されたパスワードを入力してから「OK」をクリックすると初期画面が表示されます。

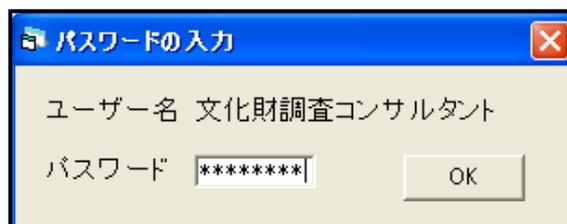


図 4- 2 「パスワードの入力」画面

③「ファイル」→「開く」(図 4- 3)をクリックすると「ファイル選択」画面(図 4- 4)が表示されます。

「最近開いたファイル」でファイルを選んだ場合、「ダイアグラム選択」画面(図 4- 5)が表示されます。

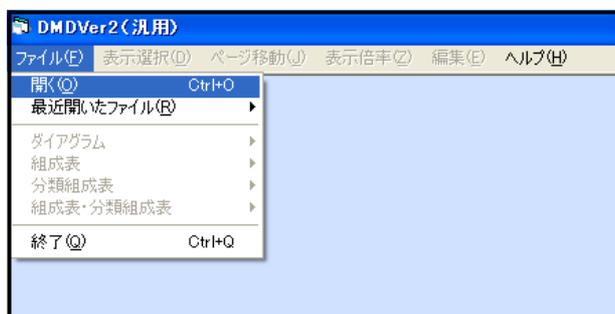


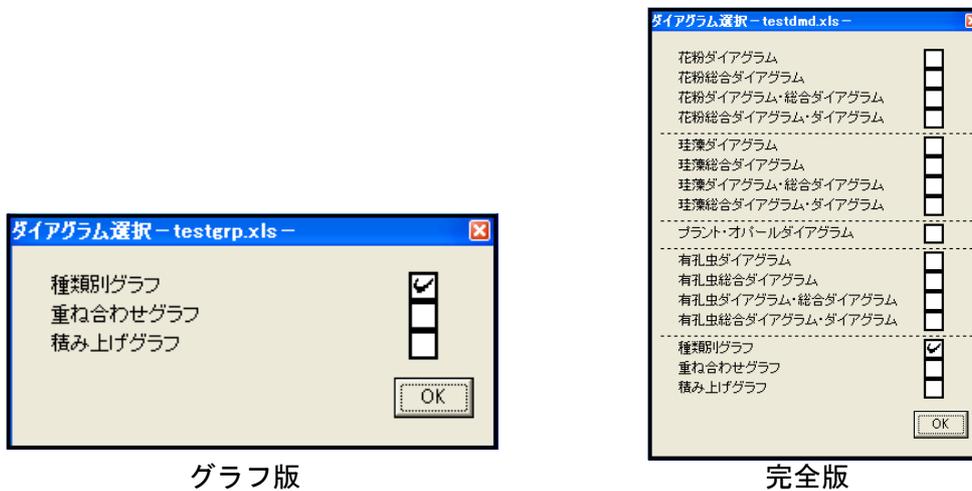
図 4- 3 「メニュー」画面

④ファイルを選びます。「開く」をクリックすると、「ダイアグラム選択」画面(図 4- 5)が表示されます。



図 4- 4 「ファイル選択」画面

⑤表示するダイアグラムを選択し「OK」をクリックします。すると、選択したダイアグラム(図 5- 1)が表示されます。



グラフ版

完全版

図 4- 5 「ダイアグラム選択」画面